

地域と学校との連携・協力により、教育の充実や地域のきずなづくりを図る活動（地域の力で育み・創造する、子供の未来と地域のきずな）

栃木県栃木市

活動名

皆川アシストネット推進本部事業

関係する学校

皆川城東小学校・皆川中学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
放課後子供教室	コーディネーター	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	実施場所					開始年度	放課後児童クラブとの連携	
コミュニティスクール	指定日			委員数	児童生徒数	学級数		

活動の概要・経緯

栃木市では、学校・家庭・地域の連携・協力を組織的に発展させ、より効果的に学校支援や地域の絆づくり等を図る教育システムとして、とちぎ未来アシストネットを、平成24年4月より、本格的にスタートさせた。

これを受け、皆川地域においても、地域アシストネット推進本部を公民館におき、同時に小・中学校長2名、公民館長、地域コーディネーター2名、地域住民の代表5名、計10名による地域教育協議会を設置、年2回の協議会を開催し、地域のアシストネットに係る事業効果、課題の抽出及び今後の方針について検討を行っている。

現在、地域コーディネーターの働きかけにより、学習支援、環境整備などに、地域の方がボランティアとして学校支援を行っているが、中学生による地域行事の手伝い等、学校から地域への社会貢献活動により地域の方とふれあう機会が増え、とちぎ未来アシストネットのねらいの一つでもある地域のきずなづくりにもつながっている。

特徴

【特徴的な活動内容】

地域アシストネット本部を社会教育施設である公民館に置くことで、自治会や育成会を始め地域で活動する様々な団体が協働して、学校における教育活動の支援に取り組み、地域の一体化につながっている。この活動の推進により、学校と家庭・地域の結びつきが強まり、子育てに関わる地域住民同士の絆を深め、活力あるまちづくりができています。皆川地域アシストネット本部では、定期的な会議以外にも学校の教職員や地域の方々との連絡を密にとっており、子供たちと地域の大人が交流するボランティア感謝会や子供会行事等に多くの参加者が集まる等の成果をあげている。

【実施に当たっての工夫】

毎月発行する公民館だよりに、地域のアシストネット事業の活動状況を掲載するとともに、公民館のロビーに活動の様子を写真入りで紹介するコーナーを設けている。とちぎ未来アシストネットの地域への継続した啓発により、地域の方への周知と新規ボランティアの発掘に取り組むとともに、地域教育協議会の地域コーディネーターと公民館や各学校の地域連携教員とは、常時、連携・協力を行い、良好な関係を築いている。

また、学校のニーズと地域ボランティアの意向とのミスマッチがないよう、コーディネーター依頼書を活用し、地域コーディネーターが調整を図っていることから、スムーズで充実した活動へとつながっている。

事業を実施して

地域の教育力を活用することで、地域と学校が双方向で連携できるようになり、互いの理解が深まることで、地域のきずなづくりへとつながった。

小学校では、「実習等の授業で、時間を有効に使うことができ、有意義な実習ができると同時に、教員も一人一人の活動の様子を的確に把握することが可能となった」、また、中学校では、「学校支援ボランティアが入ることにより、生徒たちの活動の幅が広がり、様々な学校行事や部活動がより有意義になった」との感想が寄せられた。

その他

特別支援学校の地域連携教員が地域アシストネット本部へ相談依頼をしたことにより、これまでの小学校・中学校と地域の交流だけでなく、地域にある特別支援学校と地域の交流が始まった。平成27年10月には、特別支援学校小学部の授業に地域のボランティア11名が学習支援として参加をし、交流を深めることで、地域ぐるみの教育を通したきずなづくりが一層推進された。



校外学習にて地元の方にれんげの首飾りや冠の作り方を教わる



授業前の朝の時間を利用した中学生への本の読み聞かせ